

宮城で震度6強

東北4県全域で停電

7日午後11時32分ごろ、宮城県沖を震源とする地震があり、同県栗原市と仙台市宮城野区で震度6強を観測した。震源は宮城県・牡鹿（おしか）半島の東約40キロ、深さは約40キロ。地震の規模を示すマグニチュード（M）は7.4。3月11日にあった東日本大震災の余震で、震度6強は最大。岩手、宮城両県を中心に東北4県だけが人が多数出ている。

気象庁によると、このほか北海道から中国地方までの広い範囲で震度6弱～1の揺れを記録した。気象庁は7日午後11時34分、宮城県に津波警報を発令し、青森県太平洋沿岸と岩手、福島、茨城の各県に津波注意報を出したが、8日午前0時55分にいずれも解除した。津波は確認されていないという。

警察庁によると、8日午前1時

現在、青森、岩手、山形、秋田の4県で全域が停電。宮城県でも一部が停電している。

仙台市対策本部によると、市立病院などにけが人が多数搬送

されている。市内ではガス漏れが13件発生しているほか、火災が5件起きているという。

東北電力によると、運転停止中の女川原発で、外部電力4系統のうち3系統が途絶えたが、残り1系統で冷却機能が働いているという。東通原発は現在、定期検査中で使用済み核燃料プールの冷却は続いている。外部電源が遮断されたが、非常用のディーゼル発電機が動いている。

